

ブレインストーミングの結果による木づかい推進の考え方

- ①ブレインストーミングの結果、市民が主役となって生活の中で自然に木づかいを推進してもらうためには、市民のライフステージに合わせた取り組みが必要と考えられる。
- ②特に、年少の頃の自然との触れ合い等の原体験が、今後の自然観や森や木や水への関心度を高めることに対して、極めて重要であることが共通認識されているので、年少時からの木づかい推進の関わりを重視したい。
- ③矢作川流域ならではの森や木と水と共に人生を楽しむライフスタイルをまず、市民生活の中において意識化（矢作川ディズ）させ、産官学の連携によって、中でも森林づくりや木づかい推進を特に意図しながら進めていきたい。
- ④市民のライフステージをベースにして多岐に渡る木づかい推進項目を整理し、各項目ごとにフォーマットを決めて検討を進めることで、テーマの絞り込み・集中化・関連する関係者の招集・ワーキング活動がやりやすくなると考えられる。例えば、今回のテーマは、Aーアー①という具合に。山部会での様々な木づかい推進アイデアを各ライフステージに盛り込んで形にしたい。
- ⑤推進項目のフォーマットが決定できれば、パターン化による電子媒体化・電子本・共通ホルダー化の作成も検討したい。場合によっては、市民からの情報収集も行いたい。
- ⑥市民が実践しているフリーペーパー「耕ライフ」誌のセンス・コンセプトを活かして、多岐に渡るテーマから順番にテーマを決めて、ポイント的に紹介して「矢作川ディズ」の見える化と推進を図りたい。
- ⑦推進項目やライフステージの区切りについては現行のイメージ（案）をベースに、ブレインストーミングにより整理したい。

木づかいガイドライン作成関連資料

1 森林組合関連事項

県名	森林組合名	H23 素材生産量 (m ³)	出荷先	製材品 換算 50% (m ³)	関連工務店
愛知県	豊田森林組合	21,075	自社（愛知） 本州市売（愛知） 大口（愛知） ホルツ三河（愛知）	10,538	愛知県
	岡崎森林組合	3,984	本州市売（愛知） ホルツ三河（愛知） 西村木材（三重） ヤマガネ商事（愛知）	1,992	愛知県 三重県
岐阜県	恵南森林組合	4,355	東濃共販所（岐阜） 西垣（岐阜） 東海木材総合市場（愛知）	2,178	愛知県 岐阜県
長野県	根羽村森林組合	6,031	自社（長野） 東濃共販所（岐阜） 東海木材総合市場（愛知）	3,016	長野県 愛知県 岐阜県
		35,445		17,724	

各森林組合の共通認識

- ① 矢作川下流域で地域材利用による木づかいが進むことにより、持続的な組合経営が可能となる
- ② 持続的な組合経営が可能となることから、地域の雇用・拡大再生産・地域産業の成立・若者定住に結びつく
- ③ 同時に、上流域の森林整備が継続的に推進される
- ④ 上流域の森林整備が推進されることにより、森林の公益的機能が維持できる
- ⑤ 森林の公益的機能の発揮により、下流域の水資源の安定供給が可能となる

以上の理由から各森林組合は、下流域での木づかいが推進されることを望んでいるため、木づかいが流域で推進されるようなブレークスルー（革新的な取り組み・仕組みづくり・サプライズ）に結びつくような「木づかいガイドライン」を作成したい。このた

め、素案の内、特に⑤、⑥、⑦、⑩の項目に力を入れたい。

同様に、「木づかいガイドライン」を木づかいの理想的な形を示して導くことに重点を置き、これを手に取った方が新たな木づかい推進のヒントとなるよう当ガイドラインのオリジナル性にも留意したい。

現時点での内容（案）

- ① 私たち矢作川流域住民にとって木づかいの意味とはなんだろうか
- ② 身近な生活空間の中にある豊かな木のある暮らし・木の魅力
- ③ 子供から大人まで伝えていきたい木と森とそこに活躍する人たち（事例集等と関連付け）
- ④ 木づかいを支える事業体のコンセプトと活動
 - ・ 森林組合 ・ 製材所 ・ 工務店 ・ 建築士 ・ 木材市場 ・ クラフトマン
- ⑤ 流域で使いたい魅力的な木の製品・それを生み出す魅力的な仕組みと活動（提案）
- ⑥ 今進められている木づかいのための様々な研究テーマ・成果・研究者紹介
- ⑦ 流域の木づかいのヒントとなる様々な木づかい事例
 - ・ 個人地域材木造住宅 ・ 地域材公共施設 ・ 森林空間利用 ・ 木育アイテム
- ⑧ 木づかいを進めるための様々な支援策と特典
- ⑨ こうして楽しむ木と森林空間 流域で取り組む木育プログラム 木のマイスター制度
- ⑩ 木の利用推進による持続可能な地域づくりに向けての提案
 - ライフラインを支える森づくり→森づくりを進める木づかい→木づかいによる生業の成立→生業の成立による持続可能な地域づくり・地域活性化・地域産業山村消滅の回避

2 ブレークスルー（革新的な取り組み・仕組みづくり・サプライズ）のためのブレーンストーミングのテーマ

木づかいガイドライン作成にあたって部会メンバー等で話し合いたいこと

- ① 身近な生活空間の中にあると良いと思われる木製品・木造施設とは
- ② 過去に見て記憶にあるこれと思うような木製品・木造施設とは
- ③ 新しい革新的な木材利用とは
- ④ 皆さんが地域材で木造住宅を建てようとした時に何があるとよいでしょうか
- ⑤ 木使いが進むブレークスルー（革新的な取り組み）とは それはどうしたらできるか
- ⑥ スギダラ・ヒノダラ・矢作川 流域圏をヒノキだらけ、スギだらけにするには
- ⑦ 環境に配慮する企業の木材利用指針をつくるには
- ⑧ 市町村役場・環境教育関連施設の木材使用量を上げるには
- ⑨ 木による幸せの創造とは

3 現時点で木づかい推進のため既存の概念を打ち破るブレークスルーとしての検討項目（案）
（豊田森林組合林さん・豊田市森林課原田さんとの打合せより）

- ① 県・市町村の枠を外して木づかい推進を進める姿勢
- ② 流域材活用を最優先とするが県産材概念にとらわれず国産材活用を推進していく姿勢
- ③ 岐阜県の岐阜認証材制度と長野県の信州認証材制度の共有化（JASと同等）
- ④ 愛知県での岐阜認証材制度と信州認証材制度の適用（JASと同等）
- ⑤ 理想的な市町村木材利用指針の提示・年度別施設計画表の追加による木づかい推進
- ⑥ 理想的な企業木材利用指針の提示・年度別施設計画表の追加による木づかい推進
- ⑦ 市町村等における公共施設建築分離発注（材料と施工）方法の提案
- ⑧ 間伐材搬出径級に応じた部材提案または部材提供を意図した森林情報管理
- ⑨ 各森林組合の長所学習会の開催による組合体力・連携強化の取り組み
- ⑩ 流域圏の木づかいを推進する木材コーディネーターの検討
- ⑪ スギダラ・ヒノダラ・矢作川 流域圏をヒノキだらけ、スギだらけにする活動提案
- ⑫ 同活動に伴うデザインコンテストの開催
- ⑬ 木材市場のパイロット価格化に向けたシステム検討

4 現時点での協力者

愛知県

愛知県農林水産部林政課

愛知県木材組合連合会

岐阜県

岐阜県林政部県産材流通課

岐阜県産直住宅協会

（株）鷺見製材

長野県

長野県林務部信州の木振興課

県産材販路開拓協議会

5 国・県・市町村の職員の確保について

区 分	森づくり（悩んでいること）	木づかい（悩んでいること）
国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林経営計画の推進 ・ 流域林業の推進 ・ 間伐推進 ・ 国有林の意義 ・ 国民にとっての森林の在り方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自給率向上 ・ 間伐材搬出向上 ・ 木づかい推進 ・ 木材利用ポイント事業 ・ 公共施設への木材利用推進

<p style="text-align: center;">県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐推進 ・森林税の活用 ・森林経営計画の推進 ・森林のゾーニング ・県民にとっての森林の在り方 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村木材利用指針策定 ・流域林業の推進 ・自県の木材利用推進 ・製材工場等の水平連携 ・木造住宅、公共施設への利用 ・公共の場での木の快適性PR ・工務店の育成 ・木育推進 ・新製品開発 ・木質バイオマス利用推進
<p style="text-align: center;">市町村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画の推進 ・間伐推進 ・壊れない作業道開設 ・林業専用道開設の是非 ・架線集材の有効性 ・林地災害の未然防止 ・B、C材の活用 ・林内の未利用材活用 ・木の駅プロジェクト ・市町村民参加の森づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域材の活用 ・市町村木材利用指針策定 ・木材製品の見方、使い方の基本 ・木材製品使用の是非 ・分離発注の方法 ・木質バイオマス利用推進 ・学校など教育関連分野での木づかいと木育
<p style="text-align: center;">研究機関等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代に向けた森づくり ・更新の考え方 ・生態系サービス ・里山の総合的なコーディネート ・里山資源活用と地域活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・重ね梁 ・積層材 ・多い樹種、多い径級の製品化 ・建築部材の共通化 ・スギダラ、ヒノダラ

ヒント 森づくり・木づかいに関して、問題点、課題、実績づくり、政策提案等、悩みを抱えている国・県・市町村担当者は多いと考えられる。彼らは、多かれ少なかれ悩んでいるので、どうにかしたいという意志があるはず。

そうした意志のある方を、仲間として確保できれば私達のテーマを逆に実現性の高いものとしてつくり上げる必然性や、テーマそのものを彼らが利用できる可能性も高い。

さらに我々一般市民は、専門でないがゆえに、逆に感度的に感じる望ましい地域の森林の在り方や、身の回りの木づかいの在り方について卒直な意見を述べ、これらの視点をガイドラインに盛り込むことで、庶民も感じ取れる、読んで何かに気が付き、行動を起こせるような、心のスイッチをオンにするようなガイドラインになるのではないかと考える。

6 年間計画について

日 程	区 分	内 容
6月29日(土)	全体(根羽)	皆を木の世界に誘うためのブレーストーミング
7月19日(金) 7月20日(土)	森+木	木づかい推進のブレークスルーをするためのブレーストーミング ①～⑨ どうしたらできるか
8月17日(土)	全体(豊田)	木づかい推進のブレークスルーをするためのブレーストーミング ①～⑨ どうしたらできるか
9月13日(金) 9月14日(土)	森+木	木づかい推進のテーマの絞り込み 役割分担決め
10月12日(土)	全体(恵那)	突っ込みゼミ 着地点・決めのポイント出し
11月8日(金) 11月9日(土)	森+木	突っ込みゼミ 着地点・決めのポイント出し
12月14日(土)	全体(岡崎)	ガイドラインイメージ創出 具体的成果を期待する先進的コンセプトターゲットの拾い出し
1月		
2月		

木づかいガイドラインはじめの一歩 皆を木の世界に誘うためのブレーストーミング

原点1

- 1 皆さんが森や木を好きになったきっかけや原体験、感動した場面はなんですか
- 2 その体験を他の方に知ってもらったり、プレゼントしたいと思いませんか
- 3 そのプレゼントはどうしたできるでしょうか

原点2

- 1 今皆さんが森や木を前にしてこれではいけないのでは、もっとこうなればなあ、こんなふうになればいいのに、と感じることはありますか
- 2 そんなふうを感じたことを、他の方にも伝えて何か行動を起こしたいと思いませんか
- 3 どんな行動に取り組んだらよいでしょうか

原点3

今あなたは大好きな森や木について、素敵な本を作ろうとしています。その本を読むと誰でも眠っている心のスイッチが入ってしまいます。すると、心の中が明るく温かくなって、そして歩もうとする道を照らします。皆が森や木のファンになってしまうような、何か森や木に会いに行きたくなってしまおうような、皆で行動を起こしたくなってしまおうような、何か素敵な時間が持てそうな予感がする、あなたがこれから作りたい素敵な本の内容とはどのようなものでしょうか。もし、考えるのが難しかったら、どんなことが書かれている本だったらあなたは購入するでしょうか。

7月20日 第10回 山部会 原点1のブレーストーミング意見

●矢作川流域圏木づかいガイドラインについて

- 森や木を好きになったきっかけや原体験・感動した場面と、その体験を他の方に知ってもらうにはどうしたらよいか」について意見を出し合いました。主な意見は下記です。

- 幼少の頃から木工作が好きで、人工林の間伐を通じて森林にはまっていった。(原田)
- 森が身近な地域で育った。積木がぶつかり合うときに出る音等、木のもつ感覚がよい。(城田)
- 子供にとっては、森の手入れに使う道具などはスリルがあると面白い。(斉藤)
- 小学生の頃、工作で木工玩具を作り、道具の使い方を覚え、その後遊びが本格化した。(石原)
- 幼少の頃、家族で行く山登りが好きだった。木の匂いは安心感を与えるので好き。(長谷川)
- キャンプ時の悪天候に木の下で雨宿りをした際に、安心感を覚えたことが印象的。(森)
- 鎌倉の山と海で育つ。山と海には生きていく知恵が沢山あると感じている。(黒田)

- 生き物と木が好き。木のよさに魅せられ、少し前に自宅を間伐材で張り替えた。(沖)
- 北海道育ち。森には近寄ってはいけないルールがあったが隠れて遊ぶのが楽しかった。(南木)
- 東京都内でも奥多摩や飯能の山に親しみながら過ごした。小学生の時に作った木工作を先生に褒められたことが印象的。都会の人に山に来てもらってイベントなどをするとよい。(蔵治)
- 学生時代、狭山丘陵で懐かしい風景に出会う。木に抱きつくほど感動し、研究者を志す。(洲崎)
- 子供の頃、犬小屋を木で制作した。登山が好きで、山頂から見る風景に感動している。(今村)
- 次回は「森や木がこんなふうになればいいのに」と感じることや、「そのために取り組む内容」について自分なりに考えておいて頂きたい。(今村)
- 映像、写真、子供の頃に自分で作った作品などがあると議論が盛り上がる。(今村)

8月17日 第11回 山部会 原点2のブレーストーミング意見

●矢作川流域圏木づかいガイドラインについて

木づかいガイドラインの作成のはじめの一歩として、「森や木を前にして、これではいけないので、もっとこうなればなあ、こんな風になればいいのに」と感じるということについて、ブレーストーミング方式で意見を出し合いました。主な意見は以下です。

【木づかいガイドラインについて】

- 職業柄、木づかいガイドラインの作成は形式から考えてしまうので、今回のやり方は、消費者目線・利用者目線で考えられるためよい。(原田)
- 矢作川流域に住んでいることの意味は、流域市民の暮らしの質が上がる、価値が上がるということにつながる。(相川)
- ガイドラインはみんながわかるものがないとだめ。書店でマイサジが入ったキットを売るなども面白い。(城田)
- 立っている木に親しめる機会があるとよい。森を明るく。歩いて楽しい林にできればよい。(洲崎)
- 木づかいガイドラインと森づくりガイドラインはリンクしていないといけない。(黒田)
- 工務店とのブレーストーミングを通じて意見交換などができるとおもしろい。(蔵治)

【木材利用の推進について】

- 旭の工芸館から依頼があり、木や森に関することを子供たちに伝えるイベントをした。子供は将来性があるので、木の良さをわかってもらえるとよい。木材でつくられた小学校などを通じてPRしたいが、森林組合だけで行うのは困難。(松井)
- 人間のライフサイクルを考えると、どの時代も同時期に同じものを購入しており、木材も今後、チャンスがある。(相川)
- 総無垢のベビーベッドがある。世の中にはファーストウッドという考えもある。(蔵治)
- ファーストウッドで地域振興している上飯田の例がある。(原田)
- 机、ランドセルなど成長に応じて木を用いた製品を使ってもらう手もある。(丹羽)
- 北海道のエコビレッジでは、自分達で使うものを自分たちで作る。生活の中にあるものは意外と自前で作れる。(城田)
- 普通の人ができるものを品目に入れるべきだし、そのようなものの中には雇用を生み出すのはたくさんある。(城田)
- 木の駅プロジェクトに関連し、ちょっとした木工が可能となる機器をおいておけばよい。(南木)
- 日曜大工は道具をそろえればその気になればできる。(丹羽)
- リフォームへの補助金(城田)
- 豊田森林組合では、工具そのものを貸し出すことはしないが、組合で実施する体験学習に参加した方には、使ってもらっている。講座が終わった人がまた使いたいといってくることもある。(松井)

出された意見を発展的に楽しく木づかいガイドラインに活かせるように考えてみました

原点1の意見からは原体験を得られる環境づくりの多くのヒントがあります

- ① 多くの方に自然や人工林での五感的な、感動的な体験があって、これが今でも心の中にしっかりと残って原体験・原風景となっている。また、こうした体験が現在の森や木に関連する職業や、地域を元気にする仕事に就ききっかけになっている、とも言える。

従って、矢作川の流域の山・川・海で子供たちの原風景や原体験となる場を提供してあげられると良い。→どこにそのような感動が待っている場所と時間があるのでしょうか。

- ② 森に入る時に自分なりきの準備をしていた。何らかの道具を持って森や山に向かうことは、とてもわくわくする感じがある。自分の生きた時間の始まり、とも言える。

従って、何か自然の中に入っていく時、何か身支度をし、道具を使うことの楽しみがあるような、身支度を整え道具を使いこなすことがかっこいい、という感じを子供たちに与えたい。→どんな身支度と道具が子供たち他に相応しいのか。地下足袋を履いて、鉈を使いこなせるようにするにはどうしますか。何をやってもらいましょうか。メーカーに子供用スペシャルをオーダーしますか。

- ③ 木工工作にのめり込んだ楽しい体験を持つ方が多かった。自分の技能で扱える木材という材料は魅力的である。そして、その工作を褒められたことも忘れられない。

従って、矢作川流域の様々な木を使って、簡単なものから技術が必要になるものまでの木工キットや作り方を教えてあげたい。→材料はどこで入手しますか。どんな材料が使えますか。どんなキットを作ってもらいましょうか。どこで作りますか。

- ④ 家族で山登りをして安心して楽しめ、しかも山の匂いが忘れられない。自然の匂い・香りは印象的でいつまでも素晴らしく安心感を与えてくれる。また、山からの眺めが素晴らしくて山の世界に魅せられてしまった。

従って、自然への興味を高め導く活動として登山はひとつの原点となる。自然の中の真ただ中に一日中、安心して山登りを楽しめるようにしたい。→どんな山に登ったらよいのでしょうか。道中に魅力的なものがあふれていますか。そこにどんな感動が待っているのでしょうか。家族で楽しめるコースはありますか。新たなコースを開拓しますか。

- ⑤ 山の中で雨にあっても木が守ってくれて安心感があつた。自然のふところに抱かれる感じが好き。

従って、山に抱かれる感じ、安心して山の中にいられる感を教えたい。→山の中で安心して時を過ごし、山の趣を安心して堪能できる場所やアイテム例えば、峠や岩小屋、東屋、テント、タープ、ウッドデッキ、その他の快適アイテムを必要な個所に設けましょう。どんな個所を教え、どこに何を設置すべきでしょうか。

- ⑥ 山と海からは生きていく知恵をもらえる。海を身近に育ったので、山と海があれば海に魅かれてしまう。このことは、子供の頃の原体験がいかによつと心の中に残ることになるかのひとつの証し、とも言える。

従って、山と海で遊ぶことを通して、自然に身につく知恵を身につけさせてあげたい。教えるというより気がつかせてあげたい。どうやって遊ぶか考えさせよう→海や山で子供たちを自由にさせておくことが必要か。敢えて教えないが、さりげなくやって見せてあげるか。その場所をどこにしますか。

- ⑦ 生き物や木が好き、という感じは子供ならではの感度であり、山や川や海で生き物と出会えるような環境が欲しい。

従って、山・川・海を通して、ここにいくとこんな生き物に出会えるというような情報を提供してあげたい。森や木を含めて自分達と同じ生き物が存在していることを実感させてあげたい。→どこにいくとどんな生き物に出会えるのでしょうか。

- ⑧ 子供時代に自分の力で山に行ける環境であったことが、現在の自分に結びついている。

従って、子供時代から自分達で考える旅を経験させたい。そうすることで、自分で考えて行動するような自立心や探究心を養いたい→子供たちでできる、あるいは流域住民の協力による海から源流部への旅など企画できると面白い。海から源流部へ、または源流部から海へサイクリングロードは作れますか。自転車ショップの協力は得られますか。木のベンチは必要ですか。途中の川べりで東屋は作れますか。

- ⑨ 丘陵地帯などの日本的な懐かしい風景にとっても心を打たれてしまったことが、今の自分に結びついている。

従って、恐らくごく普通の農山村、川、海の風景であっても、夕暮れ時や四季の移ろい時など、急に風景が輝き出す場面がある。それは心の中にしっかり焼きつけられて、故郷や地域を愛する心を育むことにつながる。→子供に見せてあげたい風景を見つけましょう

- ⑩ 自然や森の神秘性を感じられる心、自分達だけの秘密基地など、子供が自ら感じとれる面白い要素を楽しんでいる。

従って、子供たちが自由に楽しめるような森林空間などを設置できるとよい。少し冒険的な要素を持った森であるとか、神秘的な要素を持った森であるとか、意図的な森林空間利用を考えたい→森の持つ神秘性やわくわくする冒険的な要素を持つ森林はどこにあるでしょう。そんな森林空間を演出しましょう

原点2の意見からはガイドラインの性格や盛り込むべき内容について多くのヒントがあります

- ① 利用者目線や消費者目線からのガイドブック作成に意義がある。利用者にとってどのような情報に魅力があるのかがポイントである。
- ② 流域市民の暮らしが上がる・価値が上がることに結びつける。ガイドラインのおかげでライフスタイルの質が上がった、となるようにしたい。
- ③ 市民にとってわかりやすいガイドブックであることや、少しオシャレでもよい。ある意味で行政的でない面白さが必要である。
- ④ 木や森を身近に感じられるような案内や活動提案があると良い。様々な視点から森や木と接することができるので、それを紹介したい。聴診器で木の音を聴くのも、そうした道具があれば楽しめる。
- ⑤ 市民目線を含めて、工務店などの方とのブレーストーミングを行い、もっと専門家集団の考え方や存在を身近にしたい。私達が普段、木造住宅に感じる魅力や木づかいを推進する考え方を話し合しましょう。
- ⑥ 木や森の専門家による木育活動が大切であるけれど限界があり、地域的に取り組めるような何らかの仕組みが必要である。行政や教育委員会との協力等により、もっと意図的なカリキュラムはできるはず。
- ⑦ 人間のライフサイクルに併せて購入しているものは常に同じ傾向で一定の需要がある。これをもっと意図的に流域環境教育も含めた仕組みとして展開できると木づかいは常に一定の需要を確保しつつ進行する。学童の成長と共に木づかいを進めていく考え方も自然であり、行政や教育委員会との連携も図りたい。
- ⑧ 子供の頃から木に親しむ環境や、ファーストウッドという考え方が流域に定着すると良い。地域住民の木づかひに対するセンスを向上させるような機会を創出した
- ⑨ 生活空間で身近に使うものを自ら作成できるようなお店や仕組みができると木づかひは進むと考えられる。そうした木製品を行政や地域的な仕組みで供給できると雇用が生まれる。
- ⑩ 木の駅プロジェクトは山村の集落を中心として薪づくり等を行うため、集落の公民館等がひとつの交流の場としても成立する可能性が高く、そこに日曜大工の道具等があれば簡単な木製品がそこで作れて、木づかひの推進に結びつく。
- ⑪ 今後、新築着工住宅の減少が見込まれる中でリフォームや内装材の販売は木づかひ推進に結びつく大きなポイントであると考えられる。
- ⑫ 材料と道具、作り方などがわかれば今以上にもっと木と接して物作りに取り組む人が増えると考えられる。小学校の工作室の日曜教室や開放等、こうした機会や場面を地域でつくりあげていきたい。

どんな木づかいガイドラインをつくりましょうか（イメージ案）

～人生を楽しみ愛する家族と共に幸せに暮らす

森や木とそれを育む矢作川の流れ共に生きるライフスタイルへの誘い

矢作川ディズ～

森や木とそれを育む矢作川の流れ共に生きるライフスタイルはとても素敵です。身近な生活空間の中に魅力的な木の製品をたくさんとりいれてみましょう。矢作川の流れを見つめ、自然の息吹に耳を傾けてみましょう。愛知・岐阜・長野の3県を流れる矢作川流域圏を対象としたこの木づかいガイドラインには、そんな森や木の魅力や、それを育む矢作川流域の自然環境に出会い、流域に暮らすひとり一人が未来にむけて互いに関わり合いながら、豊かで魅力的な地域社会を目指して活動していく（楽しむ）ヒントがたくさん書かれています。

この本を作った私たちは、森や木の魅力や矢作川の自然環境をたくさんの方々に伝え、森や木や矢作川の自然環境と触れ合うことで市民の輪が広がり、そのことで地域が元気になっていくことを願っている一市民です。それぞれの様々な立場や経験から、森や木や矢作川の流れに対する愛情や想いや妄想もたっぷりこめて、矢作川流域に住む方々のために、もっと森や木を好きになろうよ、もっと地域の木を使ってみようよ、もっと森や木と共に生きている人達と友達になろうよ、そして地域に住むひとり一人が矢作川の自然環境の素晴らしさを共有し、皆で未来に向けて魅力的な森・川・海・街になるようにアクションを起こし育てていこうよ、という考え方を基本にして市民の目線からこの本を作りました。

この本を読むときっと、あなたのライフスタイルが素敵な森や木の製品に彩られることになるでしょう。訪ねてみたくなる森やお店、森や木と共に生きている人と直接会って、話してみたくなることでしょう。もっと多くの同じ気持ちを持つ仲間と出会って、魅力的な地域づくりに参加してみたくなるでしょう。そんなことを通して、あなたの心が今よりもっと明るく朗らかにそして大きく広がって、森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きていく素敵なライフスタイルに目覚められることを期待しています。

こんなライフスタイルは、きっと私たちの暮らすこの矢作川の上流から下流に暮らす人々の交流や結びつきを高めることになるでしょう。今まで以上に流域に住む人々への尊敬や感動、そして地域に対する思いやりの心、協力しあうことの大切さに気がつくことになるでしょう。こうしたライフスタイルの基本となるような、地域とそこに暮らす人々と共に生き愛する気持ちが、矢作川の流れを地域の心の絆として、私たちにとって本来あるべき、そして未来に亘って暮らしやすい持続可能な流域を作り出していくグッドスピリットであることを確信しています。

私達の故郷の源である矢作川の流れを見つめ、いつまでも美しい森と川と海に囲まれて人生を楽しみ、愛する家族と共に幸せに暮らすことができるように、今こそ流域に暮らすひとり一人の住民の意識改革から、この豊かな自然環境を持続可能な財産として皆の手で育み、ずっと暮らしていたくなる魅力的な矢作川流域的生活空間「矢作川ディズ」を創り上げていきましょう。

◎どんな木づかいガイドラインにしますか（イメージ案）

- ①読むと行動したくなる本
- ②読むと人に会いたくなる本
- ③読むと人に話したくなる本
- ④読むと人にあげたくなる本

森 ここにこんな森がある

好きな木のある森

お薦めの木のある森

記念樹の森（植栽できる場所がある・マイツリーにしてもよい）

矢作川演習林・観察林・サスケ谷・針広混交林

木 ここにこんなお店が こんな素敵な木製品

店 流域住民と仲良くなれる店 「矢作川ディズ」のお店 木工作のできるお店

道 休める緑陰樹の道 矢作川源流ライン 渓谷と滝の道 マイナスイオンの道

人 ここにこんな人が 生き方 こだわり ポリシー 苦悩 失敗 挫折 モチベーション 色々失敗はあるがモチベーションを失わず明るく前向きに人生を楽しんでいる感じ 深く矢作川の自然環境を愛している 志のある一般人（事例集とリンク ただし個人紹介を多くして人の輪を広げる感じで）

取組 ここで森づくり・木づかいの市民参加ができる

ここで木の製品を作れる 木工作ができる

ここで森づくり・木づかいの持論を展開できる

ここでこんな木の取り組みをしている 市民編 行政編 業界編 研究編

ここでこんな森や木の取り組み計画があって参加できる

木の駅プロジェクトに参加できる

木づかいの未来に向けた市民による取組を提案できる

木づかい（森づくり）を進める提案 市民編 行政編 業界編 研究編

矢作川絆事業 例 全河川沿香嵐渓プロジェクト

全河川沿緑陰サイクル・ランロード

本 この本（資料）を読んでほしい ブック（資料）レビュー

この本で人生が変わった 変わる 市井の人たちが勧めるから魅力がある

⑤読むと市民として参加できる本

⑥ 読むとライフスタイルに影響を与えられる本

⑦ 読むといいものと出会ったことを実感させられる（わくわくする）本

⑧ 自分たちで作ったから人にあげたくなる本

⑨ 自分たちが作っておいて良かったと思う本

⑩「矢作川ディズな人たち」を定義してしまう本（イメージ）

いつも調査してしまう やたら人の輪がある 議論ずき 酒ずき

自然の中に身をおきたがる やたら盛り上がる 木の製品を使わせようとする や

たら山や川や海のスペシャリストが多い 子供の心を持った大人が多い 夕焼けを見ると涙ぐんでしまう 発信できる生き方をしている人が多い こだわりの人ばかりだ イナバウワーができてしまう 山と川と海をまとめて楽しんでしまう それも生態や環境負荷についてもよく知っている 自分達で住みやすい環境を作ってしまう

9月14日 第12回 山部会 原点3のプレーストーミング意見

●矢作川流域圏木づかいガイドラインについて

今回は前回に引き続き「木づかいガイドラインはじめの一步」として、大好きな森や木についての素敵な本をガイドラインに見立て、参加者の方々が「これから作りたい素敵な本の内容とはどのようなものか」について意見を出しました。

また、第10回、第11回山部会WGで行ったプレーストーミングの結果についてもふりかえり、今後、どのようなガイドラインを作っていくか話し合いました。

【木づかいガイドラインのイメージについて】

- 山の暮らし、森の暮らし、木のある暮らしという点では音の風景というものが強い。木を切る音、薪を割る音がすると冬がやってくるという感じする。(黒田)
- 山の中で田んぼ仕事をしていても木のざわめきなどがすると寂しい感じがしない。最近は木造のいい建築物などが減ったことだが、日本人はこの100年間で木の価値を知らないまま作り替えてきた印象もある。(沖)
- 音の風景に加えて木の匂いや森らしい癒される絵などがあれば、視覚に訴えかけると同時に心のスイッチが入る。また、木や森に関する世の中の誤解を解消するようなネタが、本の中にコラム的に入っていると面白い(長谷川)
- かつては木造2階建ての小学校があった。そういうのを見ると懐かしい気持ちになる。(後藤)
- 森林の減少や重要性について日常生活でなかなか触れられないのでそのあたりを本の中で訴えられるとよい。(西原)
- プロの方が知っているマニアックな内容があると取り付きやすい。(森)
- トトロなどのアニメを通じ、木や森を知った。森の不思議なところをドラマやアニメで表現することは有効だと思う。(石原)
- 心のスイッチは魚釣りのときに入る。明らかに魚が釣れそうな雰囲気がある場所を見つけるとワクワクする(南木)
- 学校は学問を教えるところではなく、感性を教えるところだと言われている。人工物であるコンクリートで造られたマッチ箱のような校舎で感性が養われるわけがない。その意味で「近代化・人工物が優れているところ」をこれから改めて見直していく時期と考えている。(原田)
- これからの世代を担うこともたちにも読んでもらうことが重要。専門書とうよりも少し柔らかいイメージがよい(松井)
- 宮沢賢治の「狼森と叢森、盗森」という本が好き。木が語る言葉を理解できる人が、森の中を歩いている時に、木が人間に話しかけてくる本があると素敵。木の言葉を聞きに森の中に行ってみたくなれるとよい。(洲崎)
- これまでに人間が行ってきた近代化や、木の話しでいえば密閉化された構造物などの解消に取り組むなど、今一度見つめ直していくことが必要だと思う。(長澤)

根羽スギのブランド化をめざし厳しく品質管理しているのです。どうしても欠陥材が出てくるとそれをうまく利用してもらうことが現在の課題です。県産材販路開拓協議会や県の林務部と一緒に「J-1A 産直県産木材」の動きを担っているところ。また地域材によって特徴があるので、広く県産材を使ってもらえるよう働きかけをしています。

阿部 つまり、他の地域との連携という観点から。

鈴木 森林組合のこの事務所は根羽村のスギ、大森村の本管、ノキ川上村のノキのツツを使っています。住宅の用材選定の中で、ノキやカラマツの需要に合わせた強さをしています。

大久保 根羽スギ、根羽ノキという名は強しながらも、堅野産材あるいは矢作川流域材など大きなものにしてほしいと願っています。爪をくわす仲間が大切ならば、大きな産地に伍していけるのです。

阿部 もう一つ出組むつもりや発信は県からではなくはけませんね。木材の産地の目録はどうですか。

鈴木 今、輸入材が日本に小舞くなっています。好景気に誘われて中国など他の国の方が価格がいいですし、円安の影響もあります。今までの外材メインの工務店や国産材にシフト中で、国産材の需要は今後増えるのではないかと見えています。

水源地の村として 下流域と連携して森林保全

阿部 矢作川の水源地であり、矢作川連合共同体として下流域との連携を促しているところですね。

鈴木 矢作川流域には水を使うものは、自ら水を売れという慣習があり、大正期には、明治用水(豊田市の冠層帯に水を供給)が水源林として根羽村の山林を購入しています。平成3年には岩手県と森林整備協定を結びました。また県の森林の里創制度を使って、下流域にある企業のアイシンケルプも社から支援を頂いています。

下流域に木材の販路を広げるため、今年にはJAS(日本森林規格)の認定工場の特許を取得しました。工業団地の愛知ではJASがないと品質を認めてもらえませんから。

阿部 私も地域産材を売って、長距離を世界的な森林生産地にしたいと考えています。なにか工夫はなんでしょうか。

大久保 生産者と消費者の間に、法的な繋がりや仕組み的な支援を是非知事にお願したいと願っています。生きるとして環境を壊さず、人々が住み続けられる、また観光に来てもらえるようになります。

資源を売って、地域の住民が参加できる仕組みとして、今、木の販路プロジェクト

上、動いています。今、全国におくられているのですが、売れている間伐を民間の手でして、薪として販路する仕組みです。山を管理し、地域通貨として収益が村内に回るようにしたいと思っています。すこく儲かなくていいので、今の人口を維持できる仕組みを作りたいと思います。

阿部 いいですね。私もかつて地域通貨を考えた時期があって、なかなか実行できなかったけれど、根羽村くらいの規模

ならいでしょうか。
大久保 1のくらしたとて、まあ、まあ、そういう地域がいくつかあると、面白くなると思います。

資源の徹底活用 燃料としての可能性

今村 愛知県に産地という資源地があります。針葉樹のなかに力工などを広



左下:プロセッサによるスギの選材作業。右下:林業に付して高のふるたんの活用。大久保村。右中:工業団地に発生する木質資源の活用。左中:工業団地に発生する木質資源の活用。右中:工業団地に発生する木質資源の活用。

産材を産出し、様々な紅葉が自費で年間100万人が訪れているんですよ。

大久保 今、その中でも、どうこうしています。環境を壊さないための森林整備です。環境的なノウハウはこれからですけど、生産者と消費者、自分たちの生きる山と目で感じ、山を大切にしたいと願っています。

阿部 獲れる山と獲れない山を獲には扱えないですね。ところで、環境問題でポイントを見せたいんですが、ハイオックス酸は現実的には難しいですが、今村 山に置いてくると、多いので燃料用の燃料が確保しきれないというのが課題です。

大久保 何となく愛知県は農業が盛んで



根羽村森林組合の職員の方々と

温室のポイラーは灯油を焚いていますが、これを環境にやさしいものに置きたいという意欲はあります。木はまず用材として使い、今は捨てている部分も燃料としてでも使いたい。まずは村の高齢者福祉施設で間伐材を薪として使ってみようと思っています。個人の住宅には薪ストーブが薪が主流でしよう。

小さな木の住まい 可能性が広がる

今村 矢作川連合共同会ということでは、矢作川流域協議会の「山部会」が、長野、岐阜、愛知の3県に渡る3つの森林組合と連携して、薪づくり木づかいプロジェクトを作成してらるそうです。

たとえば、木づかい推進プロジェクトのような形で、矢作川流域の120キロ、3県でなにかプロジェクトはできないか。阿部知事に大久保村長とタッグを組んで、いただいた下流域に向けて発信するというのはお願いできませんか。

阿部 それは下流域の方々に、こちらで水資源を守っていることを伝え、同時に根羽の木を使ってもらいたいということですね。

今村 そうです。そのひとつのアイテムが「小さく住まう魅力的な木の住まい」です。西日本大震災のときに、東北のある森林組合が森林を壊していても、なにも住宅の手当がでなかったというシロ

シロがありました。そこで根羽村や地域の豊富な杉を使って、コンパクトで、安価で、しかも下流域の工務店がすぐ簡単に建てられるようなことを考えたんです。一棟およそ80万円です。

阿部 県でも移住交流を進めています。住宅が80万円なら歓迎をしようですね。

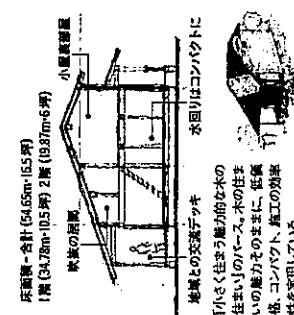
大久保 今年度中に村内にそのモデル住宅ができます。是非、これも県の予算を少しいただいています。ありがとうございます。

鈴木 実際に建てて、断熱など研究しながらやっています。厚労自然素材などは、断熱も可能な可能性があると考えています。

大久保 アイエスさんとは、東海地方産を確保して、リスク分散として従業員の方々の安全を守ることに力を入れていて、非常に興味を持っていただいています。

阿部 是非、いろいろを売ってください。災害時に迅速に提供でき、平時の快適な住まいとして活用されようですね。

今村 遊休農地で農業ができるし、断熱は高し、水はいい、木はある、田舎暮らしの良さもたくさんある。二つは生活のすぐそばで、自分たち暮らしができます。薪づくり、木づかいプロジェクトには、木を削りながら、生きるというスタイルの提案を盛り込もうと思っています。阿部知事にそんなライフスタイルを提案していただくと、木づかい推進のリーダー



になっただけなんです。
阿部 それはいいなあ。
大久保 これからは国産材の時代、薪材としては燃料の可能性もあると思います。
阿部 さっそく、県の林務課と一緒にプロジェクトのイメージ図を描いてください。トータル林業を考えたトータルな森林暮らし、これを森林活用するためのものを打ち出しましょう。期待しています。

木づかい推進プロジェクト
〒407-1000 岡崎市伊勢町407-10
TEL: 0565-49-2120
http://www.mis.tnks.or.jp/~nabasa/

阿部知事(中央)

矢作川ディズ 木づかいガイドライン ライフステージアタック表 (案)
 (フォーマットを決めて電子媒体化・電子本・共通ホルダー化)

矢作川ディズな ライフスタイル を確立するための ライフステージ アタック対象	ライフステージ の特徴	市民編A 森や木と水と 共に人生を楽 しむライフス タイル矢作川 ディズへの誘 い さあ~しよう	行政編B 木づかい推進 に向けた社会 環境・システ ムづくりと矢 作川ディズへ の支援	業界編C 楽しい矢作川 ディズの演出 や木の製品提 供とそのこと による持続可 能な地域産 業・生業の確 立	研究編D 木のすばらし さを伝えて木 づかいを進 め、森や矢作 川の役割の大 切を普及させ る
ア 赤ちゃん~ 保育園の入園前 対象者数	人生のはじまり 木のぬくもり 三つ子の魂 100 までも	① センス・ オブ・ワ ンダーの 大切さを 理解しよ う ② 木のぬく もりで育 児をしよ う ③ 家族で自 然の息吹 を感じよ う ④ 安心して 野外で遊 ぼう ⑤ お母さん に読んで もらいた い本	① お父さん と母さん と赤ちゃん のため の優しい 緑の散歩 道づくり ② お父さん とお母さ んと赤ち ゃんのた めの優し い緑の公 園づくり ③ 子を持つ 大人のため の情緒 安定空間 の創設	① 子供の安 全な子育 てに配慮 したベビ ーベッド ② 木の玩具 提案 ③ 小さな子 供さんに 配慮した 公園の木 づくり ④ 小さな子 供さんに 配慮した 公園の木 づくり ⑤	① 幼児期に おける木 との触れ 合いがも たらす効 果 ② 幼児期に おける緑 の空間が もたらす 効果
イ 保育園児 対象者数	五感の発達	① 自然を感 じてみよ う ② 木で遊ぼ う	① 木造保育 園の設置 ② 身の回り の木造製 品の施設	木造保育園 モザイク床パ ネル	① 木造校舎 の果たす 児童に対 する様々 な効果

		<ul style="list-style-type: none"> ③ 木と森の物語を楽しもう ④ 子供と楽しもう 	<p>設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 園児の安心・安全生活環境を 		②
ウ 小学校 対象者数	<p>感受性の高まり 自分の好み センス・オブ・ワ ンダー 人間関係の構築 (仲間に対する 信頼・友情等) 自分の力の認知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 自然を五感で感じてみよう ② 自然観察をしてみよう ③ 君に教えるふるさとの木 ④ 木の工作をしてみよう ⑤ 木の面白科学実験で木を好きになろう ⑥ ネイチャ―ゲームで楽しもう ⑦ ボルダリングで岩を楽しもう ⑧ ツリークライミングで木を楽しもう ⑨ こんな本を読んでもみよう 	<p>設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 先生のための木育指導ガイドブック(流域編) ② 先生のための木育指導研修 ③ 先生のためのブックレビュー ④ 地元の木を使用した魅力的な木造小学校を建築します ⑤ 入学祝い・卒業記念になる机・椅子セット 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地元の木を使用した魅力的な木造小学校を建築します ② 木のキットハウスを提案します 	<ul style="list-style-type: none"> ① 自然との出会いがもたらす人間の成長的な効果 ② 木造校舎の児童に果たす効果

		⑩ 木と森の物語を楽しもう			
エ 中学校 対象者数	思春期	① 木の名前と特徴を知ろう ② 仲間と海から水源を目指す流域の旅に出かけよう ③ 流域の面白い場所を見つけよう ④ 自然の中でチャレンジしてみよう ⑤ こんな本を読んでもみよう			
オ 高等学校 対象者数	人生の選択	① 矢作川流域圏懇談会の調査に参加してみよう ②			
カ 大学 専門学校 対象者数	自我の確立	① 森や木や流域に対するテーマを見つけてみよう ② 地域社会の改革に			① 木と緑の憩いの公共空間づくり提案 ②

		<p>チャレンジしてみよう</p> <p>③ 遊休農地・里山活用チャレンジしてみよう</p>			
キ 就職 対象者数	社会人	<p>① 自分の職場環境で木づかいを進めてみよう</p> <p>②</p>		<p>① 木と共に暮らす様々なアイテム</p> <p>②</p>	
ク 社会人 対象者数	ライフスタイルの確立	<p>① 木のお店へ出かけてみよう</p> <p>② 木の木陰を見つけて散歩やサイクリングをしよう</p> <p>③ 森や源流を訪ねて四季を楽しもう</p> <p>④ 暮らしやすく魅力的な自然環境をつくろう</p> <p>⑤ 身近な里山で母樹を見つけよう</p>	<p>① 市民の木づかいを推進する様々な制度と支援策</p> <p>② 木づかいによる公共空間づくり市民活動スギダラヒノダラ広ダラ矢作川の実践</p>	<p>① 地元の建築士・工務店による様々な木の住まい提案</p> <p>② 様々な木の製品を扱うお店からの住まい提案</p> <p>③ 各社の快適住まい最新提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 断熱 ・ 結露 ・ 防水 ・ 温度・湿度調整 ・ 防音 <p>④ 広葉樹の利用編</p>	<p>① 木の住まいの魅力を伝える様々な科学的データ</p> <p>② ウッドマイレージの考え方による国産材の普及</p>

		⑥ 木の住まいを考えるにはこんな本を読んでもみよう		⑤	
結婚 対象者数	旅たち	① 記念樹を植えて木と共に生きよう ② 木の住まいを検討してみよう ③ ライフプランを考えよう ④ 素敵な木の教会 ⑤ 森に祝福される日			
出産 対象者数	家族				
マイホーム 対象者数	家族の和 生活拠点				
増改築 対象者数	住まいの補修	① 現在の住まいを木造にしてみよう ② 室内の内装に木を使ってみよう	① 市民による木づかい推進のための増改築支援 ②		
セカンドハウス 対象者数		① 仲間と集まる家を建てよう ② 里山サロ	① 市民による木づかい推進・地域づく	①小さく住まい住宅提案	

		ンを作っ てみよう	りのため の活動拠 点施設支 援 ②		
市民・社会活動 対象者数		① 木づかい や流域を 愛する気 持ちをつ なげ絆を 高める矢 作川ディ ズ 駅 伝 (海から 水源 (1 日目、水 源から海 2日目)を やってみ よう ②			① 森の健 康診断 の結果 報告 ② 木づか い推進 による 持続可 能な地 域づく りは可 能なの か
人生の達人 対象者		① 森づくり やその歴 史を語ろ う ② 自慢の我 が家を紹 介しよう ③ 森や木や 矢作川の 流れと共 に暮らし た 良 き 日々を語 ろう ④ 人生の達 人者のお		①	

		話を傾聴 しよう			
--	--	-------------	--	--	--